

■ 若手技術者が実務として必要な基本知識を確認するとともに、工事管理手法等を学びました。



若手技術者が実務において活用できる施工の点検、段取り、管理手法等を習得しました。また、グループワーク形式で行うことにより、研修を通じて同世代の連帯感をより高めることができました。

- 1 日時 平成30年10月3日（水）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター  
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内の建設業の新人（若手等）技術者
- 4 参加者 18社 29名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
9:30~10:00	（受付）	
10:00~12:00	「現場管理の基礎」	株式会社 建設経営サービス （KKS） 講師 中村 秀樹氏
	1) 信頼される現場技術者とは ・事例紹介および技術者の心構え 2) 基本知識習得（グループ演習） ・コンクリートの基本知識	
12:00~13:00	（昼食）	
13:00~16:00	2) 基本知識習得（グループ演習） ・仮設工事の安全点検方法と労働安全衛生規則の関係 ・土質、地盤の基本知識 3) 施工技術力を身に付ける演習（グループディスカッション） ・グループで簡単な演習問題を行い、実務上の技術習得を学ぶ ※講師からコメントやアドバイスを行う	
	16:00~16:30	
16:30	閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 5ユニット（認定講習）

## 8 研修状況



講師  
(株) 建設経営サービス (KKS) 中村秀樹氏



これまでの施工事例を基にして“信頼される現場技術者の心構え”を学びました。



“コンクリートの基本知識”について、自身の経験も踏まえながらグループ内でディスカッションを行いました。



“土砂崩れや法面崩壊などの斜面災害”について、模型動画にて発生メカニズムを学びました。



“仮設工事の安全点検方法”と“労働安全衛生規則”の講義を受け、グループ内でのディスカッションを行い、理解を深めました。



最後に受講生からの中村先生へのお礼と講義感想を伝え、終了しました。

## 9 受講者の感想

- ・「災害、公共事業は皆のために協力し終了させてほしい」と言う話が印象的だった
- ・グループ演習では自分では思いつかなかった考え方を知る事ができた
- ・グループ交流で同年代の様々な考え方が分かった。現場を観察するポイントを分かりやすく教えてもらった
- ・グループでの話し合いが出来たため普通の座学より理解が深まった
- ・コンクリートの基礎知識については現場で活用できると思った
- ・今更聞けないコンクリートの深い知識やクレーンの知識が深まった
- ・実際あった事例を説明していただけたことや、考える時間や発言する時間もあり充実していた
- ・現場においての基礎能力を高める事ができて良かった。学んだ事を活かせるよう頑張りたいと思う
- ・同世代の技術者とコミュニケーションを取れたことがとても刺激になった

以上